

村長の日記

6月5日（月）

大阪府市町村振興協会理事会

振興協会は、大阪府の市町村(政令市は除く)へ融資を行ったり、宝くじ(サマージャンボ・オータムジャンボ)の収益金を市町村へ交付するとともに、市町村職員へ研修行う機関。

平成28年度事業報告

1. 交付事業

* サマージャンボ 13億2,900万円

* オータムジャンボ 7億3,100万円

合計20億6,000万円を市町村へ交付した

千早赤阪村：サマージャンボ 1,050万円、オータムジャンボ 590万円

2. 貸付事業

長期貸付金として、府下29市町に69億9,600万円を貸し付け。

3. 助成事業

府内市町村が実施する防犯、防災対策事業費として、各市町村250万円、合計1億250万円を助成した。

4. 研修事業

研修コースおよび受講者数

能力向上研修 41コース 1516名

専門実務研修 18コース 646名

研修指導者育成研修コース 13名

システム研修 34コース 917名

他、

合計110コース、4826名であった

村長の日記

* 理事評議員の移動

退任：市長会長 八尾市田中市長、就任：市長会長 高石市坂口市長。

退任：町村議長会会長 井上昭司 千早赤阪議会議長、就任：町村議長会会長 川島玲子 島本町議会議長。

* 事務局長の任用

事務局長兼常務理事 九鬼康夫氏、本年6月30日で定年、退任。

7月1日、石川晴久氏(29年3月大阪府環境農林水産部長を定年退職)が就任。

18:00

自民党大阪府連政策発表会 (ニューオオタニ大阪)

党本部より二階幹事長 参会。

私は和歌山県出身。大阪は常に和歌山の親分、大阪がシャンとしなければ周囲の府県は元気が出ない。大阪の自民党に頑張ってもらい、近畿、西日本一帯を昔のように元気にしたい。

資料によると、

現在、都道府県住民1人当たりの所得 No.1は東京都451万円。愛知県は352万円、大阪は301万円。昨年のランキングで大阪は12位だったが今年は13位、年々存在感を失いつつある。

* 万国博覧会2025

1. 万国博2025に立候補している国と地域。

フランス / パリ テーマ：共有すべき知見・守るべき地球

ロシア / エカテリンブルグ テーマ：世界の変革・子供、将来世代のための包括的イノベーション

アゼルバイジャン / バクー テーマ：人的資源

日本 / 大阪 テーマ：命輝く未来社会のデザイン

サブテーマ：多様で心身共に健康な生き方、持続可能な社会経済システム。

基本理念：真の豊かさを感じられる生き方、それを可能にする経済社会の未来像を参加者と共創。

村長の日記

2. 大阪で開催する意義

- (イ) 未来社会で鍵となる化学・技術力、利他精神、アニメ等の文化。
- (ロ) アクセスの利便性、治安が世界最高レベル。

(ハ) 多様な価値に対し寛容。

- (ニ) 自然災害を乗り越え、自然と共生した持続可能な社会を提示。

3. 基本事項

(イ) 開催場所：夢洲

(ニ) 建設費、1250億円

(ロ) 開催期間：5月3日～11月30日(185日)

(ホ) 経済波及効果(試算)建設費0.4兆円、運営費0.4兆円、消費支出1.1兆円

(ハ) 入場者数、2800万人～3000万人

全ての面で地番沈下の激しい大阪の活性化に万博は必要。維新、自民、公明、他 政党を問わず大阪を活性化する万博の招致を勝ち取ろう。

自民党から、大阪都構想に対する対案、大阪政令市プランが示された。

大阪府をすべて、大阪市、堺市のような政令市で覆う構想。大和川以南では現在政令市の堺、南河内で1市、泉南で1市となる。

維新の大阪都構想では中核市に、自民の構想では政令市に千早赤阪村は組み込まれる。何年か先の話だが、双方の都市構想の内容を精査しよう。

6月6日(火)

6月議会

始めに私の挨拶。

新人議員の皆さんにとっては初めて議会です。既に皆さんは色々と学習済みとは思いますが、初めての議会、私たちも新しい気持ちで臨みますが、お互いに切磋琢磨していい村を作り、田中議長を中心にして、いい議会運営に協力していただくようお願いします。

千早赤阪村はご存じの通り、合併破綻以来財政再建に努力してきました。議会、職員、住民皆さんの協力により現在は落ち着いてきましたが、財政力指数は0.32、昨年より少し下がりました。税収は5億弱、人口減少は止まりません。高齢化率は40%を超え、1番大きな集落である小吹台の高齢化率は50%を超えました。幼稚園の入園者は3名+1(4人)となり、このまま行けば過疎指定と同じく、大

村長の日記

阪初めての限界集落となります。議会で限界集落ストップ宣言を出してほしい所です。

村には日本遺産にはずれましたが、河内の英雄 楠公さんの誕生地。彼の優しさの象徴、寄手塚、味方塚。楠公さん唯一のポジティブな遺産、100日間、100倍を超す敵を相手に落城しなかった、日本100名城の1つ、“千早城”を始めとした山砦群があり、3000haを超える杉、桧の山。耕作放棄地を含むほぼ100%の棚田。市街化調整区域ではありますが、開発可能な土地が大量にあります。

住民が高齢化すると現状変更には抵抗がありますが、30年先の村、50年先の村を考える時、今こそ職員はもちろん、議会の皆さん、住民の皆さんの意識改革、INNOVATIONNにより10年先、20年先には過疎から脱却の村造りに取り組むときだと思います。

交通インフラの極端に悪い村ではありますが、約10Km先の京奈和道が近く完成します。道路インフラの充実を国、府に要望し、大阪近郊の地の利を利用した村造りに取り掛かる時だと思います。皆さんの協力により、いい村を作ります。

議会運営委員長、関口さんの報告で始まる。

会議録署名者、関口議員、井上議員。会期：6月6日～6月22日

主な提出議案

- * 議案第41号 平成28年一般会計補正予算
補正額 530万円 歳入歳出総額 32億4,700万円
ふるさと応援寄付金事業総務委託料、300万円
基金積立金 223万円 他
- * 議案第42号 教育委員会委員の任命
杉本重雄委員退任により、中村泰雄氏の教育委員会委員への同意を求める。
中村安雄氏
昭和33年11月 生まれ
昭和58年3月 大阪外国語大学卒
平成5年4月～ 学校法人浪速学院勤務 浪速高等学校教頭
- * 議案第43号 農業委員会委員の任命
農業委員会委員の任命は、市町村長が議会の同意を得て行うことになった。

村長の日記

農業委員

森屋 岡本善三、中野清秀、植野茂雄

水分 山本清一、清原康夫

二河流辺 西野敏彦

川野辺 川辺清

吉年 堀井建造

小吹 谷利之

中津原 大向義章

東阪 大橋敏明、大橋隆

小吹台 上原裕美

定員 14名に対し推薦 13名、応募 1名で決定。

- * 議案第 44号 村付属機関条例改正
- * 議案第 45号 職員の育児休暇に関する条例
- * 議案第 46号 職員の退職手当条例
- * 議案第 47号 千早赤阪村手数料条例
- * 議案第 48号 消防団員等公務災害補償条例改正

以上 5 議案を総務民政常任委員会に付託。

- * 議案第 49号 一般会計補正予算第 2号

総務民政、文教建設両委員会へ付託して初日の会議は終了。

6月7日（水）

午後

ラジオのスイッチを入れた所、天皇陛下御退位法案の委員会中継があった。皇室に対する審議の為か、予算委員会の質疑と違い、質問、答弁とも礼儀正しく審議を繰り返している。衆議院の予算委員会審議でもヒステリー的な質問など、どうかと思う質疑が多いが、可能な限り質問、答弁ともわかりやすい日本語で紳士的に討議をしてほしい。

17:40

和光庵着。すでに 3 人首長着。今日は副知事と府下町村長とのフリートーキングの場。本来は 6 時スタートだったが、副知事に急な公務が

村長の日記

入り東京行き。3時過ぎの新幹線で帰阪の予定、30分開会を遅らせた。6時すぎに首長が揃ったので、先日山口政策企画部長より要請のあった町村議会での万国博覧会の開催要請決議を各首長に話したところ、河南町は既に決議、ほとんどの町村は6月議会で決議終了。副知事到着。拍手、乾杯の後副知事より、市街化調整区域での開発手法の話があり、現在担当課で各市町村を回り調整区域での開発手法の指導と、立地する企業誘致のバックアップ体制を作っている。各市町村は大阪府を使って地域づくりに力を入れてください。約2時間懇談の後、「皆さんの苦労は良くわかる、しかも元気に対処している、私も仲間に入りたい。」

6月8日（木）

総務民政常任委員会

山形委員長

* 議案第44号 千早赤阪村附属機関に関する条例改正

老朽化が進んでいる公共施設の設備改修にあたり、民間手法を活かした ESCO・energie service company 事業(民間事業者が施設・設備の改修に当たり、企画・設計・施行・維持管理を包括的に行い、省エネ効果を保障する事業)を導入することで施設の光熱水費を削減、省エネルギー化を推進する。千早赤阪村エスコ提案審議会を作り、エスコ事業の企画提案を審査する。

* 議案第49号 平成29年度一般会計補正予算

補正額 4, 240万円増額 歳入歳出総額 31億8, 440万円とする。

主な項目

➤ 歳出

増額：総務費4, 880万円、民生費280万円、商工費300万円、消防費100万円、教育費80万円。

減額：議会費250万円、衛生費350万円、農林水産費130万円、土木費210万円、他

➤ 歳入

増額：繰入金4, 220万円、府支出金30万円、雑入90万円、村債(新庁舎建設事業債)320万円。

減額：国支出金440万円

(注) 主な項目だけをピックアップ。

村長の日記

6月10日（土）

10:00

特定非営利法人こごせ会 山ゆり作業所 通常総会（いきいきサロンやまゆり）

6月12日（月）

診療所へ行ったところ、大阪府後期高齢者医療広域連合発行、無料配布の「元気高齢者のための健康長寿ガイドブック」があった。

ガイドブックを開いてはじめて目に入った言葉は、フレイル・サルコペニア、ロコモ。

- ・ フレイルとは、日本老年医学会の提唱した「高齢期の虚弱」介護が必要になる大きな原因で、筋力の低下、活動の低下、食欲の低下(低栄養状態)など、老年症候群と呼ばれる虚弱状況。
- ・ サルコペニアとは、フレイルの原因となる高齢特有の筋力の減少、筋力や身体機能が低下した状態。加齢に伴い筋力に刺激を与えないとどんどん筋力が衰え、動くのが億劫になり、食欲が落ちてフレイルを招きます。
- ・ ロコモ、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)とは、骨や関節、筋肉など運動器が衰えた事。

フレイル、サルコペニア、ロコモ、若い人には関係のない言葉だ。人間加齢によりいろいろな言葉に関係するようになるが、これも人生、死ぬまで元気を目標に運動して、体の老化を抑えることが大切。毎日金剛山へ上って元気を保つことが必要。

あとは

- ・ ぐっすり眠ってさわやかな毎日を。PM1時~3時の間に30分以内の昼寝はアルツハイマー(認知症)を防ぐのに有効。
- ・ ストレスと上手く付き合い元気な毎日を！おしゃれと恋がストレスを吹き飛ばす秘訣。
- ・ 禁煙で心も体も元気に。がん、心臓病、脳卒中、慢性閉塞性肺炎のリスクが小さくなる。
- ・ バランスのとれた食事で健康に。脂肪を減らし植物繊維を多くとることで元気に長生き。
- ・ 口の中を健康にして、全身の健康度をアップ。
- ・ 高齢期になりやすい病気に気を付けよう。1 高血圧 2 眼病 3 腰痛症 4 糖尿病 5 脂質異常症、他
- ・ 早期発見で怖くない。認知症を予防。
- ・ 鬱病に気を付けよう。

村長の日記

読んで行くうちに憂鬱になる。人間加齢より身体各部に異常が出る事は、自然の成り行き。適度に運動することにより健康寿命を維持しよう。

6月14日（水）

楠木正成を中心とした日本遺産の申請却下となり、「摂津・河内に生き続ける楠公さん」中世の侍ヒーローが残した聖地を巡る旅・日本文化遺産 については文化庁に提出をもって河内長野・富田林・千早赤阪・四條畷・島本・神戸の会は解散となった。

今回日本遺産不採用になった原因は、日本遺産は現在に遺跡が残っているだけでは駄目。それが地域にどのような影響をもたらしたのか、地域の発展に役立ったか（例えば、その精神が引き継がれて祭りが始まったなど、現在にもつながっており、かつ目に見える地域の遺産がある）をもって認定され、景色、街並み、お祭り、運河など現存していることが必要。

楠公さんはそもそも現在に繋がっているものが無く、(すべて遺跡や史跡) 訴求力のほとんどが目に見えないものである。忠義を尽くした、知略を持って戦った等、精神論。

- ・ 日本遺産はあくまで文化庁が決定。文化庁の意向にあったものを題材とすれば取れる。
- ・ 日本遺産の認定には、その住民の機運醸成など全く加味されない。注目を浴びていても、文化庁に気に入られなければ意味が無い。
- ・ 日本遺産を取りたいければ、文化庁好みの題材表現をさぐるのも手(複数のパターンから選んでもらうと聞いている)。楠公さんに固執する必要はない。

6月15日（木）

庁舎建設特別委員会

山形委員長で開会。庁舎建設に際し現庁舎取り壊しの後、文化財調査実施設計の後新庁舎建設となる。その間役所の移転状況の説明を行った。

新しい移転用の建物を建設するのではなく、現在の保健センター、くすのきールを利用して現庁舎撤去の後新庁舎が出来るまでの間、住民、職員、議員の皆さんに迷惑をかけることになりましたが、庁舎建設費を出来る限り抑えるには、我慢をしながら進めることになる。

移転に関する基本的考え方

村長の日記

- ・ 住民説明会での意見を尊重、コスト削減のため仮庁舎は建設しない。
- ・ 現庁舎の機能は原則として保健センター、くすのきホールに集約。
- ・ 防災無線、専用回線を要するシステムを所管する部署は保健センターに集約。
- ・ 窓口業務担当課も可能な限り保健センターへ。
- ・ 現有スペースより狭くなるが、コスト削減の為移転する書類は必要最小限に抑える。

委員会で概要を説明の後、議会からの要望があった。

- ・ 住民に対する説明は丁寧かつ詳しくすること。
- ・ 議会に対する配慮は必要ない、コストを抑えてやれ。
- ・ 移転に対する無駄は極力排除すること。
- ・ 住民に迷惑を掛けないように、細心の注意を。

議会に対する配慮より、住民優先を厳しく指摘された。

14:00

府庁法務部法務課 公益法人グループ

法人法改正に伴い、当時法人内にあった基金・現金は早く使用する事が必要で、公益に資する場合はどのような使い方でも問題なし。

財務部長室へ回り挨拶の後、16時10分の新幹線で上京。

6月16日（金）

全国町村会

本日の会合は、平成30年に向かつての政府予算編成および各種政策への要望を審議。

1. 大規模震災からの復旧・復興対策への万全の措置
 - A) 財政基盤の弱い被災町村が復旧・復興への加速化に向け、必要な事業進行に要する予算措置。
 - B) 原子力災害対策の徹底、福島第一原発事故の早期終結、避難民の生活支援・損害補償の迅速化、除染・放射能廃棄物処理の加速化、原発安全規制・防災対策の万全化。
 - C) 熊本地震からの復旧・復興対策。被災町村全てが1日も早い復旧復興を果たせるよう、新たな補助対策、補助率のかさ上げ、地方負担分の減額等、十分な予算措置を。

村長の日記

- D) 全国防災・減災事業への十分な財政措置を。
- 2. 1億総活躍社会の実現に向けた地方創生の更なる推進。
 - A) 町村が進める地方創生の取り組みへ制度財政面の十分な支援。
 - B) 地方創生交付金は対象事業の要件緩和に努め、自由度の高い交付金に。
 - C) 東京一極集中の是正では、政府機能の移転、本社移転等抜本的対策を。
 - D) 1億総活躍プランで打ち出された子育て支援、医療介護等、社会保障の充実が安定財源化を。
- 3. 子育て支援の充実
 - A) 子供への医療費助成は国の制度として無料化の実施。
 - B) 障害児を含むすべての子どもに対するサービス実施に向け、1兆円超の財源を。
 - C) 「介護離職」対策充実へ、会議従事者育成など人材育成を。
 - D) 保育士育成で人材確保を。
- 4. 町村自治の確立
 - A) 道州制は導入しない。
 - B) 地方分権改革では地方からの提案を実現。
- 5. 地方税財政に関する事
 - A) 地方交付税の総額を確保。

町村が自立性、自主性を発揮し、施策実施には継続・安定した自主財源が必要であり、地方交付税安定確保が必要。
 - B) 地方の基金増加で地方財政計画の歳出適正化が叫ばれているが、単に基金増加による地方への歳出削減は行わない。
 - C) 全国森林環境税の早期導入。

森林・林業・山村対策の抜本的強化を図るため、全国森林環境税の早期導入。
 - D) ゴルフ場利用税の堅持。

ゴルフ場利用税は地域振興を図る上で不可欠。
 - E) 固定資産税の安定確保。

村長の日記

この税は町村財政を支える安定した基幹税。国の経済対策の手段として見直さない事。

6. 介護保険と国民健康保険

- A) 介護保険の調整交付金による保険料の水準格差調整機能の堅持。
- B) 国民健康保険の普通調整交付金が担う自治体間の所得調整機能は、平成 30 年からの新制度後も堅持。

7. 教育政策の推進

- A) 少子化を理由に学校の統廃合・教職員定数の削減は行わない。
- B) 老朽化したスポーツ・文化施設の、安全化・長寿命化・建て替え・多機能化等に対する財政措置を創設。

8. 農林水産業

- A) 田園回帰を初め各地域に最適な政策実施に向け、自治体の裁量を拡大した農村価値創生交付金(仮称)を創設。
- B) 農村の成長産業化に向けた、多面的な機能を維持・発揮する地域政策の実施。
- C) 森林林業基本計画の実施。
森林台帳の整備は、技術支援と財政支援措置の継続実施。
- D) 林業・漁業用の軽油取引税特例措置の恒久化。

9. 国土政策

- A) 小さな拠点作り推進。
国土形成計画では「都市と農・山・漁村の共生」が柱。「小さな拠点作り」に向けた町村の取り組みを積極支援。
- B) 社会資本の総合的老朽化対策。防災・減災に向け、橋梁・トンネル等社会資本の老朽化対策に向け、技術支援、財政措置を講ずること。
- C) 地域交通の維持確保。
条件不利地域では、地域の特性・実情に応じた生活交通ネットワークが必要。維持確保に向けた多様な取り組みの支援。

村長の日記

6月19日（月）

11:00

副知事来村

副知事は来庁前、東阪三日市線の楠を見た後、棚田に寄って役所到着。村の懸案である楠並木を見ていただいた。

狭い道路の土手に、くすのきの並木がある。昨年、富田林土木で約200mにわたり、道路の上にかぶさっている枝を落としてもらった。しかし、楠は大正3年、ヒットラー・ユージェントが来阪時、千早城址から観心寺行くときの記念に植えたもの、既に樹齢100年を経過している。幹は1mを超す樹が多く、周囲の木の上に枝を張り、楠一人勝ちの状態。枝を落としたぐらいでは成長を抑えられない。根が道路をおしあげて、道路自体が影響を受ける状態だ。伐採するか影響を抑えるにはどうするか。

伐採には、路線バス対策は？ 伐採後 幹・枝の処理は？ 電線・電話線の処理は？ 伐採後路肩は大丈夫か、クレーンの設置方法は？ 等々、問題点を話し合った。現在は枝を切るなどの処理で当座はしのげる。しかし、20年~50年後には新しい道路を造り遊歩道にするとか、色々考えられるが、私は今すべてを伐採するのがベストだと思う。府にもいろいろ知恵を出していただこう。

また富田林五條線のトンネルについても、出来るのは30年~50年先の話だが、村発展の原動力として、いつかできる可能性を信じたい。

6月21日（火）

14:00

体育協会会長来庁

体育協会は従来、村民体育大会の開催母体として、体育の日に開催していた。村内総出で地区対抗の綱引き、玉入れなどを行い、多くの住民を集め、にぎわった。私も区長の時にはマイクロバスを借り、千早から村民グラウンドへ選手を運んだことを覚えている。小吹チームが綱引きでは非常に強く、毎年優勝していた。どうして強いかと聞くと「練習・練習・また練習」。千早でその話をすると、「勝ってよし、負けてよし、参加することが大切」。ただ1~2回は練習したが顔合わせ程度、1回戦か2回戦で敗退、冷えたビールが旨かった。当時は昼休みに弁当とビールがつきものだった。

4年前、体育協会では体育イベントをやることになり、手はじめにグラウンドゴルフを秋にやることになった。10~11月はベストシーズンだが、このシーズンはだんじりがあり、各種団体・地域のイベントが目白押しのシーズン。かつては体育の日が村民体育大会の日と決まっ

村長の日記

ていたが、新たに割り込むのが大変で苦勞なさったのを覚えている。
今年もウオーキングをやる予定、村もバックアップしたい。

6月22日（木）

6月議会最終日

6月議会初日に総務民政常任委員会、文教建設常任委員に付託した、

第44号議案 村付属機関に関する条例の改正

第47号議案 手数料条例改正

第45号議案 職員の育児休暇等に関する条例

第48号議案 消防団等公務災害補償条例改正

第46号議案 職員の退職手当に関する条例

第49号議案 平成29年度一般会計補正予算第2号

以上6議案は委員長報告の後、全員賛成で可決。

次に、

議案第50号 一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案内51号 千早赤阪一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,740万円を追加して、予算総額32億80万円とする。

上記2議案は全員賛成。

議案第52号 「2025日本万国博覧会」大阪誘致の決議

国際博覧会は、人類が抱える地球的規模の課題に対し、世界からの知恵を一同に集めることで解決方策を提言する場であり、新しい時代を生きる知恵を広く発信することにより、世界と日本の平和的発展に大きく寄与することが期待されている。

先日、政府において閣議了解が行われ、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした国際博覧会の開催についての書簡をBIE（博覧会国際事務局）へ提出し、立候補が行われた。

国際博覧会の大阪での開催は、古くから人々の叡智により新たな技術を生み出し、文化・産業の両面から国内外をリードしてきた大阪から、世界中の人々の健康に係る様々な課題を克服し、人類の未来に向けてより良い生活を送ることができる新しいモデルを提案することや、それを広く世界に発信するという点において、大変意義がある。また、新たな観光や産業のイノベーションが期待できるなど、大き

村長の日記

な経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて大阪の存在感を示す絶好の機会にもなり、住民の健康増進や地域の振興にも寄与するなど、都市の活性化、住民生活の向上も期待できる。

とりわけ、本村にとっても地域振興をはじめ、観光魅力の発信や産業振興、住民の健康づくりに寄与する万博は大きな効果が期待できる。そこで、千早赤阪村議会としては、大阪での国際博覧会開催の意義に賛同するものであり、国際博覧会の誘致・実現に向け、大阪府・大阪市や経済界とともに、積極的に取り組むこととする。

以上、決議する。

平成 29 年 6 月 22 日

大阪府南河内郡千早赤阪村議会

本議案は IR と関係するので共産党は退席で決議に参加せず、全会一致で可決。

休憩の後、一般質問(答弁は議会広報を参照してください)。

一般質問について

・ 山形議員

空き家バンクの状況について

空き家に関しては今年 3 月定例会でも質問したところであるが、その後の状況は。「空き家情報バンク制度」の現在の空き家の登録・成約状況等はどうなっているのか。

・ 田村議員

住民のニーズに合致した新公共交通システムの策定について

千早赤阪村は、今後高齢化率が 50%に迫る超高齢化時代を迎えることが確実視されている。免許証の返納などで、村内・村外への交通手段に問題を抱える方の増加が懸念されるが、一方村内には公共交通空白地域も多数存在し、自家用車に代わる交通手段の確保が喫緊の課題でもある。平成 27 年度に引き続いて昨年度も新地域公共交通システムの実証実験が行われたが、昨年度の議会答弁では、①広報・周知の強化②利便性の向上③乗車機会の増加④路線バスとの乗り継ぎ が、平成 28 年度実証実験の改善課題として挙げられていた。それらの課題はどの程度解決できたのか。また、上記 4 点のほかに平成 28 年度実証実験において、⑤新たな課題 が見つかったのであれば、その点に関しても併せて伺いたい。

村長の日記

- 千福議員

災害に対する危機管理について

村政運営方針において、危機管理機能の向上、被害の低減、防災力の向上とっておられるが、具体的な対応策をお答え願います。また、役所内において訓練等実施されているのか、初動の体制が大切であると思います。更に、要支援者(避難)名簿が配布されていますが、誰がどの状況において対応すれば良いか、マニュアルの作成があるのか、安全・安心に向けての対応を求めます。

楠公史跡の整備状況について

観光振興において楠公史跡は大切な資源となっており、来村者も増す中、整備が必要と思います。中でも上赤阪城跡は今後どの様な形で計画されているのか問います。大変、遅れている様に思われます。又、保存会との共存はどの様な形で進められるか問います。

- 井上議員

子育て支援について

子どもを産み育てやすい社会を実現するには、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援が重要であると考えます。本村では、少子化を踏まえ様々な取り組みをされているが、現在子育て世帯への包括的な支援の現状はどのようになっているか。また、支援を充実するための取り組みはどのようにするか伺う。

鳥獣被害防止対策について

今回の選挙中に、多くの方よりイノシシ対策の要望を受けた。調べたところ、前議員の浅野さんが H22 年 9 月と H26 年 3 月議会で取り上げられているが、被害は減少していないと思われる。現状や対策を伺う。

- 関口議員

子ども医療助成の拡充を

少子高齢化が進むなか、子育て支援に取り組む自治体が増えている。大阪府下で医療費助成を高校卒業まで実施している自治体は、2016 年度で 3 自治体であったものが、今年 4 月からは 5 自治体に増え、大阪市は今年 11 月から高校卒業まで拡充することになっている。村でもこの間、拡充を求めてきた。3 月議会の予算審議で拡充に必要な予算は 150 万円と答弁された。他市町より遅れを取らないために、是非とも早い時期に実施することを求める。

村長の日記

小吹台入り口の作業現場について

小吹台入口作業場について、社長の逮捕・刑の確定により当初予定していた自動車解体業はできなくなり、土地を売却するためその手続を取っている。しかし、本当に当該地を手放すのかその真意はわからない。引き続き地元の住民の安全と生活環境を守るために監視が必要だ。①村として行政間の連絡協議を行い、情報の交換、業者への指導をしていただきたい。②土地の売却にかかわって市街化調整区域でどういう活用方法があるのか。③土地購入に関し、村や富田林市でできる方法はないのか伺う。

国保統一化に伴う国保料について

平成30年度から大阪府に国保が統一化される事に伴い、今年2月、大阪府が各市町村の必要保険料を粗い試算で公表した。これを受け村では今年3月議会当初予算で28年度の保険料を据え置く予算が提案され可決された。しかし、同議会で約2万円引き上げる補正予算が賛成多数で可決された。村は、今後毎年約2万円程度引き上げる計画をしている。8月には大阪府は2回目の試算を出す予定と聞いているが、村の今後の計画を伺う。

なお答弁については議会広報でお読みください。

6月議会終了に当たって

6月6日に始まりました平成29年度第2回議会定例会は、皆様のご協力により波乱もなく終わりました、ご協力感謝します。

村議会は7議席うち4人が新人、変化の少ない村では大変な出来事です。村は現状のままでは駄目だ、変革(イノベーション)が必要とのしるしです。

村の道路整備は1970年の万博以来、富田林五条線は災害復旧工事のみ、東阪三日市線の楠は成長するがまま、国道309号線はやっと今年、村の入り口まで来る状況です。交通インフラの充実なしに村の発展はありません。今、維新は大阪府下を大阪都と中核市に集約するつもりです。自民は大阪府を政令市のみにするつもりです。村は中核市でもいい、政令市でもいいのですが、その前に、309号線の水越トンネルまでの完全改修、富田林五條線金剛トンネル開通が必要です。

村の高齢化ストップと人口減少ストップには、企業誘致、すばらしい自然を生かした「千早赤阪 IT ビレッジ」、高地には「大阪の軽井沢」が出来ればいいと思います。議会、住民の皆さんの理解を得て、このままでは村がダメになる。意識改革による村の積極的な再開発構想を作り、元気ある、日本で初めての過疎からの脱却した村を作りたいと思います。皆様のご協力とご理解をお願いし、閉会の挨拶といたします。

村長の日記

6月25日（日）

第6回深日港フェスティバル（岬町）

深日港→洲本港、航路社会実験運航オープニングセレモニー。

10時開会予定だが、第2阪和道路が完成した影響で早く着いた。やはり道路は大切だとしみじみ感じた。

深日港は私が若いころ、子どもを連れて洲本へ行くフェリーに乗った港。埠頭の前にはおかずを選べる食堂があり、子どもが深日の食堂へ行くのを楽しみにしていたのを思い出す。その子供も今は50歳に近い。20年位以前にも深日→洲本フェリーが運航していた。明石大橋、鳴門大橋が出来て、深日港がさびれた。

今、和歌山→小松島フェリーが運航しているが、第2阪和が完成したことにより岬町・深日港の利便性が飛躍的に向上してきた。今回は人員輸送だけ、3か月の実験航路だが、フェリーの需要が出てきそう。深日港をメジャー港湾として、第2阪和を岬町通過道路としないように、人、車の流れを岬町に取り込んでほしい。

会場のそばにはサンポルタ(深日港観光案内所)ができ、町長のやる気が形になっている。大阪の南の端 岬町にまず元気になってもらい、次は東の端 河南・千早赤阪、北の端・豊能 能勢が元気になれば大阪は万全、また日本の中心として復活する。

13:30

楠公史跡保存会総会

岬からトンボ返りで間に合った。保存会は毎年気にかけているのだが、今年も会員数が減少している、500人を割った(495人)。

昨年「公を忘れた日本人」で産経新聞が1大キャンペーンを張ってくれた。明治神宮のシンポジウムでは2000人超、ラブリーホールのシンポジウムでは800人を超える人が集まった。平均年齢は少し高いが、楠さん人気はまだまだ上昇中、会員募集を掛ければ集まるはずだ。待ちの姿勢では、会員は減少以外ない。ぜひ会員増強をお願いしたい。

村は保存会に毎年570万円公費を支出している。法人設立時に出損金として3000万円を支出している。保存会の皆さんにも公費の重みを考えていただきたい。

6月28日（水）

千早の里にもやっと遅い夏が来た。今朝、冬用、春用の布団を夏掛けに切り替えた。長期間使ったのでクリーニングに出したところ、かな

村長の日記

りクリーニング代が高かったので、財布の中身が空になる手前。新しく買った方が安いのでは？ また10月からお世話になる布団、大切に扱おう。

16:00

九鬼町村長会事務局長退任の挨拶に来庁

鶴田部長も一諸に来庁。局長は中さんから町村長会の会長を交代して以来サポートしてもらい、いろいろ指導してもらった。今月30日で退任、7月1日から石川さんと変わる。鶴田部長は八尾市田中市長が市長会会長を退任するのに伴い、八尾市へ帰る。教育委員会の部長に就任する。八尾市に帰っても元気に働いてほしい、長い間のサポートに感謝。

6月29日（木）

浪速中学・高等学校、木村理事長の呼びかけで食事会

メンバーは行政関係で、摂津市森山市長、大阪市議会議員3名、大阪府神社庁長、四條畷神社宮司、道明寺天満宮宮司、浪速中学高等学校木村理事長・専務理事、私、の10名。浪速学園と関係のある人たち。

千早赤阪村も多聞小学校を利用していただき、関係者の1員にしてもらった。浪速はキリスト教系・仏教系等、各種宗教系の学校があるなか、神道系の学校として、少子化のなか生徒数を伸ばしている。フクロウスタジアムの新設、校舎の新築・増築、補習施設としての多聞尚学館、理事長の積極策が功を奏している。レストラン・ベーカリーのある学校、私の学生時代は考えられなかったことだ。

宮司で元府議会議員の摂津市長が隣だったので、“医療費高校卒業まで無料化”の話聞いた。「摂津市は地方交付税をもらっていない大阪でも数少ない自治体、出来れば22歳大学卒業まで無料にしたい。しかし近隣市からブーイングが起こる。地方交付税の交付団体では無料化するとペナルティを受ける。村長の所は無理でしょう。」結論として、医療費については国の方針で統一すべきだ。

村長の日記

6月30日（金）

夕方

シティプラザへ。近畿市長会会長 東大阪市野田市長、大阪府市長会会長 八尾市田中市長、市長会、町村長会・町村議長会九鬼事務局長、鶴田部長の退任と、高石市坂口市長、石川事務局長、山本部長就任の歓送迎会。

私たち町村は、田尻、忠岡、熊取を除き、岬、河南、太子、島本、豊能、能勢、千早赤阪の7町村は府県の境にある。大阪の府県間道路は隣の府県に比べて整備が出来てない。大阪は隣の府県との間で協力できるかで、発展できるか、退潮するかが決まる。淀川以北はかなり道路インフラが整備され、よくなってきたが、淀川以南、とくに大和川以南は道路インフラ整備が遅れている。大阪が将来東京に対峙して発展して行くには、紀泉山脈、金剛山地、生駒山地にあと5~6本のトンネルが必要。視線を大阪市内に向けるのも大事だが、隣の府県との交通利便性を飛躍的に上げる事により、大阪関西が元気になる。大阪関西を今一度日本の中心へ、大阪を中心とした道路網の再構築こそ大阪関西元気への唯一の道だ。